

プロジェクト型学習の特徴チェックシート (サンプル: マリア先生編)

[プロジェクト名: ソーラークッカープロジェクト]

学習者と学習支援者の役割		備考
<input checked="" type="checkbox"/>	児童・生徒は、学習の主体である	児童・生徒はアイデアをブレインストーミングし、課題を設定して、様々なソーラークッカーのデザインを試してベスト案を決定する。プロジェクト全体を通して積極的にアイデアを出し、学習目標に対する自己評価をする
<input checked="" type="checkbox"/>	教師は、児童・生徒の学習活動の進行役である	プロジェクト全体を通して、児童・生徒の意思決定、課題解決、コラボレーション活動を進行役として支援する
<input checked="" type="checkbox"/>	児童・生徒は、クラスメイトや専門家、地域の方とともに課題に取り組む	プロジェクト全体を通して協働して、課題に取り組む 課題についての専門家を招く 児童・生徒がソーラーパネル会社を訪問する機会を設ける
<input checked="" type="checkbox"/>	児童・生徒は、専門家としての立場を担う	児童・生徒はソーラークッカーに関する専門的な知識を獲得し、その知識を他者と共有する
プロジェクト型学習の授業構成		備考
<input checked="" type="checkbox"/>	学習指導要領に基づいて、明確に設定された学習目標に焦点がおかれる	学習目標: <ul style="list-style-type: none"> 熱伝導と太陽光についての科学的な知識を活用できる 太陽光の利用について論理的に説明できる データを収集、整理、提示、説明できる 太陽光と化石燃料の違いについて比較できる 学習指導要領上の関連項目 <ul style="list-style-type: none"> エネルギーの伝達、熱伝導、放熱 自然エネルギー データ収集、整理、提示、説明
<input checked="" type="checkbox"/>	カリキュラム構成質問によって導かれる	本質的質問: 過去の課題に対する新たな解決策はどうすれば見つかるのだろうか? 単元質問: 太陽エネルギーは化石燃料の代替案として検討されるべきものか? どうすれば太陽に「プラグ接続」できるのか?
<input checked="" type="checkbox"/>	21世紀型スキルが育成・発揮される	コラボレーション、主体的な自己管理、思考スキル、情報リテラシー
<input checked="" type="checkbox"/>	さまざまな種類の評価が体系的に組み込まれ、児童・生徒、教師がそれらを共有する	グループミーティング、自己のふりかえり、教師のメモ、相互評価、ルーブリック評価
<input checked="" type="checkbox"/>	多様な指導方略によって、すべての学習者が意欲的に学習に取り組めるよう支援する	小グループ、クラス全体でのミニレッスン、実験、データ収集、デザイン編集
学びの体験		備考
<input checked="" type="checkbox"/>	一定の期間で、関係する複数の課題や学習活動に取り組む	4週間
<input checked="" type="checkbox"/>	実社会とのつながりをもつ	学習内容は、調理や発展途上国における天然資源の開発などに関わる
<input checked="" type="checkbox"/>	児童・生徒は、学習成果物を発行したり、発表したり、また掲示したりすることで、学んだ知識やスキルを表現する	ソーラークッカー、発表、ニュースレター、ウィキ
<input checked="" type="checkbox"/>	テクノロジーは、児童・生徒の学習効果を高めるために利用される	ウィキ、調査、ウェブサイト、ウェブ会議、Eメール